

事務事業名		スポーツ交流推進事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																										
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目																										
	施策名	12 生涯スポーツの振興		区分		会計	款																									
	基本事業名	02 スポーツ・レクリエーション活動の推進		単年度繰返		01	02																									
根拠法令		—		※期間欄に開始年度を記入		01	14																									
所属	部課名	協働まちづくり部生涯学習課		【開始年度】		事務事業区分																										
	課長名	山岸 健悦郎		令和4 年度～		E 一般																										
	係名	スポーツ推進係	電話	0192-27-3111																												
	担当者	新沼 圭史郎	内線	288																												
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)																										
スポーツ合宿の誘致や大船渡アスリート応援団の取組など、各般の取組を推進することで、生涯スポーツの推進と交流人口拡大を通じたにぎわいあるまちづくりを図る。						<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																													
		都道府県支出金																														
		地方債																														
		その他																														
	一般財源																															
	事業費計(A)	0																														
	人件費	正規職員従事人数																														
延べ業務時間																																
人件費計(B)		0																														
トータルコスト(A)+(B)		0																														

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ合宿誘致、補助金交付</li> <li>・SNSでの応援メッセージ発信</li> <li>・バレーボール教室、千葉ロッテ協賛試合</li> <li>・SOMPOボールゲームフェスタ、日本スポーツマスターズ軟式野球</li> </ul>		ア	スポーツ合宿補助金交付団体数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	応援ツイート数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSでの応援メッセージ発信</li> <li>・バレーボール教室、千葉ロッテ協賛試合</li> </ul>		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民</li> <li>・大船渡ゆかりのアスリート</li> <li>・スポーツ合宿補助金交付対象団体(県内高等学校(気仙管内を除く)を想定)</li> </ul>		カ	人口
		キ	大船渡アスリート応援団公認アスリート
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	スポーツ合宿補助金交付対象団体数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆかりのアスリートとの関係強化</li> <li>・地域経済への波及効果やにぎわい創出</li> <li>・大船渡ファンの掘り起こし</li> </ul>		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ	スポーツ合宿補助金交付団体数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ合宿や交流イベントの実施を通じた交流人口の拡大</li> <li>・ゆかりのアスリートに対する応援の盛り上がり</li> <li>・スポーツを通じたシティプロモーションによる大船渡ファンの増加</li> </ul>		シ	応援団公式ツイッターフォロワー数
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
			単位							
	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円			1,470	3,224	3,700	3,700	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	0	0	1,052	2,037	1,850	1,850	
	事業費計(A)			千円	0	0	2,522	5,261	5,550	5,550
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	0	0	800	800	800	800	
		人件費計(B)	千円	0	0	3,200	3,200	3,200	3,200	
		トータルコスト(A)+(B)			千円	0	0	5,722	8,461	8,750
⑤活動指標										
	ア	団体		—	—	2	3	4	5	
	イ	件		—	—	240	300	300	300	
	ウ									
⑥対象指標										
	カ	人		—	—	34,128	33,887	33,647	33,527	
	キ	人		—	—	7	6	6	6	
	ク	団体		—	—	74	74	74	74	
⑦成果指標										
	サ	団体		—	—	2	3	4	5	
	シ	アカウント		—	—	323	400	500	600	
	ス									

事務事業ID	1754	事務事業名	スポーツ交流推進事業
--------	------	-------	------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
<b>① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？</b> ・平成29年度の赤崎グラウンド人工芝整備と「いわてスポーツコミッション」設立を受け、スポーツ合宿の誘致などを通じた交流人口拡大の取組みとして、「大船渡市スポーツ合宿支援補助金交付要綱」を制定した。 ・大船渡高校出身 佐々木朗希選手がドラフト1位で指名されて以降、市を挙げた応援体制の構築を求める声が、市民より多く寄せられていることを受け、令和3年10月に「大船渡アスリート応援団」を設立した。	
<b>② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？</b> 開始間もない事業であるが、スポーツ合宿の実績を着実に積み上げているほか、市民や市外の佐々木朗希選手のファンを中心に、応援団の取組が大きな反響を呼んでいる。	
<b>③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？</b> 取組に対して期待や希望を寄せる意見がほとんどであるとともに、市議会一般質問においても、議員からスポーツを核とした交流への取組に注力してほしい旨の発言があるなど、各方面から事業の更なる展開が求められている。	

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	<b>① 政策体系との整合性</b> <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <b>▽ 理由・内容</b> この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 本事業は、スポーツを持つ様々な魅力や可能性を引き出すもので、これまでに新たな手法でシティプロモーションやスポーツ活動の推進に結びつくものである。
	<b>② 公共関与の妥当性</b> <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <b>▽ 理由・内容</b> なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 関係する団体の分野が多岐にわたることに加え、様々なアスリートを応援するという目的は一般的な後援会組織とは異なるため、市が主体的に関わる必要がある。
	<b>③ 対象・意図の妥当性</b> <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <b>▽ 理由・内容</b> 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市がイニシアチブを持つものの、事業の受益者は当市ゆかりのアスリートや市民であることから、対象は適切である。
有効性 評価	<b>④ 成果の向上余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない <b>▽ 理由・内容</b> 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 合宿補助については、定住自立圏の取組を深めることで、成果の向上につながる。アスリート応援団の取組については、スタートしたばかりの事業であり、今後さらに成果が上がる可能性を持ち合わせている。
	<b>⑤ 廃止・休止の成果への影響</b> <input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <b>▽ 理由・内容</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市民待望の事業であり、廃止・休止することは考えられない。
効率性 評価	<b>⑥ 事業費の削減余地</b> <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <b>▽ 理由・内容</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最低限の経費のみでスタートした事業であり、既に民間団体等からの協賛も得ながら実施していることから削減の余地はない。
	<b>⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <b>▽ 理由・内容</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 実質1人に対応しているため、削減の余地はない。
公平性 評価	<b>⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地</b> <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <b>▽ 理由・内容</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者を限定していることはなく、市民に広く機会が提供されており、公平・公正に事業が実施されている。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																				
2 改革改善(縮小・統合含む)  ※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。(現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」)(終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×	市民や市外の大船渡ファンからの期待度が高く、スポーツ振興だけでなくシティプロモーションの側面も強いなど、昨今のトレンドを捉えた事業であることから、当市ゆかりのアスリートとの結びつきをより深めるなど、今後さらに力を入れて事業を展開していく必要がある。スポーツ合宿補助金交付事業については、定住自立圏共生ビジョンを踏まえた取組を進める。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		●																				
維持			×																			
低下		×	×																			

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	スポーツ合宿補助については、これまでの活動が実を結び、県内に浸透してきていることから、更なる誘致に向け、定住自立圏構想に基づき住田町と連携して取り組む。 アスリート応援団事業については、SNS等により応援メッセージをこれまで以上に発信することで、当市ゆかりのアスリートとの結びつきをより深め、交流の促進とシティプロモーションにつながるよう取り組む。